

(様式3)

目標達成計画

事業所名 グループホームおおやちの家

作成日: 平成 27 年 7 月 28 日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年に2回の避難訓練を地域の方にも参加してもらい、訓練の幅を広げている。しかし、火災以外の様々なマニュアルが未整備であり、現在ある火災のマニュアルも実際に活かせるよう、改正が必要である。	災害対策のマニュアルの作成	火災、水害、地震などのマニュアルを作成する。事業所内の避難誘導、避難場所への誘導方法、応援要請の連絡方法、避難先での過ごし方、地域との連携、備蓄品、メンタルヘルスなど、内容は様々。多方面からの意見を参考に、手直しを繰り返しながら作成する。	12か月
2	24	一人一人の生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過などは、ご本人やご家族から情報を収集し、それらを記録、カンファレンスや会議を通じて職員間で共有しているが、その新しい情報をその都度反映できるよう、独自のシートを作成し活用できるような取り組みが必要である。	フェイスシートの作成と活用	計画作成担当者や職員の意見を取り入れながら、フェイスシートを作成し、半年ごとのモニタリングの際に、担当者が記入する。その後職員回覧を通じて共有し、必要に応じてケアプランに組み込んでいく。	1か月
3	20	馴染みの人や場所、馴染みの方に手紙を出す、また馴染みの方が来訪された際は、ゆっくり過ごしてもらえるように配慮している。しかし、馴染みの方の自宅への訪問や、来訪はADLの低下により、少なくなっているのが現状である。	馴染みの関係を継続する。	今まで同様、担当者会議などの機会を通じて、情報を収集し、ご家族へも馴染みの方の来訪を依頼していく。また、全員で意識をして取り組めるように、毎月設定しているユニットごとの1か月目標に取り入れ、尚且つ必要事項はフェイスシートに追加していく。	3か月